



リバースクランプに目玉をつける方法

これはリバースクランプに可愛い目玉をつける方法です。...

作成者: Alex Diaz-Kokaisl



はじめに

これはリバースクランプに可愛い目玉をつける方法です。

パーソナライズしたリバースクランプは、クランピーと呼ばれていますが、Clampalot、Clampus、Johnなど、好きな名前をつけることができます。

クランピーのしつけについては、[こちらのガイド](#)を参照してください。

ツール:

- [ピンセット](#) (1)
- [Anti-Clamp](#) (1)

部品:

- [プレカット接着カード](#) (1)
- [Googly Eyes](#) (1)

手順 1 — クランピーの掃除



- 作業を始める前に、目玉をつけるエリアが汚れていないか確認して、ワイプで綺麗に拭き取ってください。

手順 2 — ライナーを剥がす



- ピンセットもしくは指で、目玉の裏貼りを剥がして、接着面を露出させます。
- クランピーのもう一つの目玉にも同じ作業を繰り返します。サイクロプス クランピーにしたいなら一つで十分です。

手順 3 — 接着剤を剥がす



- ① 別の接着剤を使用する場合は、次の3つの手順を実行してください。そうでない場合は、この手順をスキップしてください。
- ピンセットを使って、プレカットされた接着剤の一部を剥がします。
- ① 接着剤の量は多くなくてもよく、グーグルアイがしっかり貼りつく程度で十分です。
- ① あらかじめカットされた接着剤ではなく、両面テープでもOKです。クランピーはこだわらりません。

手順 4 — 接着剤を目玉に貼る



- 接着面を目玉の裏側に貼ります。
- 接着剤をしっかりと押し込んで、目玉に装着させます。

手順 5 — ライナーを剥がす



- 反対側のライナーも剥がして、接着面を露出します。
- クランピーの2つ目の目にも同じ作業を繰り返します。
- ① クランピーの目の数については、あなたのイマジネーションにお任せします。

手順 6 — 目を装着する



⚠ 眼科手術に相当する修理を行うことになるので、クランピーのケアは慎重に進めてください。

- クランピーの上の腕に、吸盤のすぐ上にギョロ目を付けます。
- それぞれの目を押して、クランピーに完全に密着させます。

手順 7 — 目の位置について



① クランピーの性格によって位置が変わってきます。ここでは様々な方法で目の位置を決めてください。

② 次の画像はクランピースタイルの例です。

- 獲物クランピー
- 吸盤カップ立ち上がりクランピー
- カタツムリクランピー

手順 8 — クランピーの餌やり



① おめでとうございます！あなたはクランピーに贈り物をしました。しかしこの後、デバイスを開くたびに空腹になります。

- iPhone 13 miniのように、クランピーに何かささやかなプレゼントをしてあげてください。

⚠ クランピーに渡す前に、[iPhoneから2つのP2 Pentalobeねじを取り外すこと](#)を確認してください。

手順 9



- プロの修理テックのようにデバイスを開くクランピーノ様子をご覧ください。
- ① クランピーが満足していない場合は、次の手順に進んでください。

手順 10



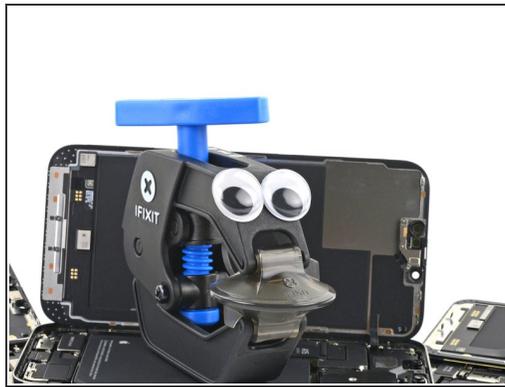
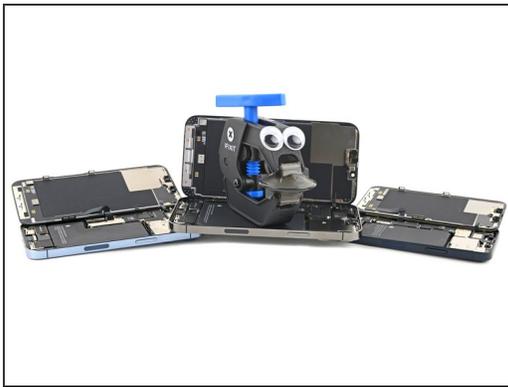
- クランピーにiPhone 13 Proのような大型の何かを啜えさせましょう。
- 簡単にこのデバイスを口に入れるところをよく見ておきましょう。
- ① もしクランピーがこのデバイスを開くのがさらに速くなり、食欲が増しているようであれば、次の手順に進んでください。

手順 11



- iPhone 13 Pro Maxのようなモンスターレベルのデバイスをあげましょう。
- クランピーが自制心を失い、不必要な暴力で電話を切り裂く様子をご覧ください。
- ① オプションがもうない場合は、次の手順に進んでください。

手順 12 — 目撃者クランピー



- クランピーは犠牲となったデバイスたちの上に乗っかり、吸盤カップの強さを証明しています。
- ① iPadでさえもその名を聞くと震え上がるほど強力な「留め金」の伝説があります。また、世界中のお母さんたちは、子どもたちに「電子機器に接着剤を使いすぎると、夜中にある金具が訪ねてきて、容赦なく締め上げるよ」と教えています。しかし、これはあくまでお話です。
- ① しかし、リバースクランプにギョロ目をつけて、このクランプのような存在を呼び出してしまったのではないのでしょうか？その存在の名は...
- クランピー。

クランピーを修理の神の領域に戻すには、逆の手順で行います。